

【会社概要】

- 所在地：佐伯市堅田
- 代表者：代表取締役 長尾 浩司
- 創業：昭和19年
- 売上高：14.0億円（H29.12期）
- 従業員数：131名（平均38.5歳）
- 付加価値額：6.1億円
- 業種：精密板金加工
各種装置用フレーム製作

※営業利益、人件費、減価償却費の合計

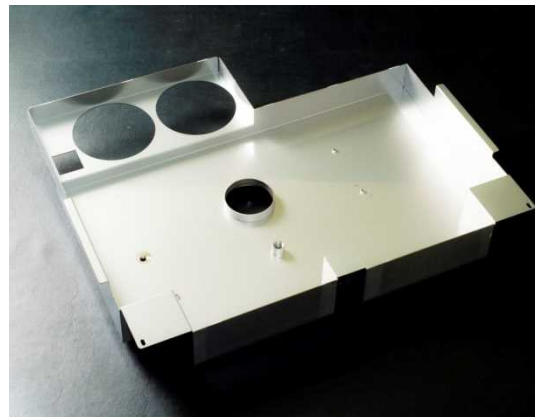
【自社の競争優位性、強み】

- 高精度で強固な溶接、しなやかな板金加工、均一な表面光沢仕上げ等、高品質な加工を可能とする業界トップクラスの技術力
- 大手企業との取引を可能とするQCD（品質・価格・納期）対応力
- 多品種少量生産、大量生産の両方に対応できる生産管理体制
- 台湾への外注やベトナム研修生を活用した低コストかつ柔軟な生産体制

【成長戦略】

- テーマ「精密板金技術を活用した、新たな業種企業との協業による新ビジネスへの取組」
- 定量目標：5年後に売上高18億円（1.3倍）、従業員数150名（1.1倍）、付加価値額7.3億円（1.2倍）
- 成長の方向性
 - ①既存ビジネスによる強固な経営基盤の維持、拡大
 - ・好調な半導体需要を背景とした半導体製造装置向け（フレーム、部品等）
 - ・国内の鉄道車両部品製造の実績を活かした海外鉄道インフラ事業への参入（車両用屋根カバー等）
 - ②新業種、多様化業種へのビジネス進出
 - ・EV（電気自動車）ビジネスに関連する川上企業の生産設備に使用する精密板金加工部品分野に参入
 - ・自社開発した藍色アルミ（インディゴメタル：アルミ素材に藍色の特殊表面処理技術）を使用し、素材提供や染色加工に加えて自社製品販売（B to C）へ進出

精密板金部品



鉄道車両屋根カバー

